

「令和 7 年度日本応用地質学会研究発表会」で、講演

1972 年から続く、日本応用地質学会の年次大会

「確かな技術で、社会づくりに貢献する」をミッションに据える株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）では、大切にしている価値観（バリュー）の一つとして、「品質・技術力で勝る会社になる」を掲げ、社員は自己研鑽に励んでいます。

2025 年 10 月 8 日～10 日に開催された「令和 7 年度日本応用地質学会研究発表会」（主催：一般財団法人日本応用地質学会）で、ATK 社員による講演を行いました。概要は以下の通りです。

【測量・計測】 新型斜面崩壊監視用傾斜・土壌水分同時観測システムの開発 後藤 和幸	斜面崩壊は、表層の土砂や岩石が地中のある面を境にして急速な速度で崩壊する現象であり、たびたび人的な被害が発生する。平成 15 年の調査結果によると、斜面崩壊発生危険箇所は、全国で約 33 万箇所におよび、全ての地点をモニタリングし、危険度を判定することは不可能である。しかし、約 33 万箇所のうち、崩壊時の被害が大きいと考えられる地点だけでも斜面崩壊監視装置を設置するためには、設置が容易で、且つ安価なシステムであることが重要な要件となる。 地震時を除けば斜面崩壊発生の最大の原因は、浸透した雨水による表土層の飽和である。当社は、6 年前より斜面傾斜の角度変化に加え表層の土壌水分変化を観測する斜面崩壊監視システムを開発してきた。本発表では、新たに強化した斜面崩壊監視システムを開発したので、改良と追加機能について報告した。
--	---

以上